

MA収縮⇒発散エントリーの【型】事例 ～三波理論～

文責:クロ

僕のアウトプットでもよくキーワードとして出てくる【3波】の概念についてです。

サロンメンバーのみなさんには過去トピックにて過去の事例や言語化したアウトプットしたものをまとめた、PDF資料を別途テキスト内にまとめているので、そちらを参照してください。

こちらのテキストではまだサロンには所属はしていないけど

- ・3波理論をインプットしてみたい
- ・とりあえず、自分のチャートで検証してみたい

そんな人向けに概要をまとめました。

これまで、僕の簡易テキストを読まれた人もいるかと思いますが

実際、MAの収縮だけを見ているとそこから「いつ」プライスが大きく動くのかを前もって把握するには

- ・その通貨ペアがどのマーケットタイムで動くのか？
- ・大きく動き出す前に、どんな予備動作をするのか？

こういった情報を、膨大な検証母数を基に傾向として把握する事が必要です。(omuさんがよく言う、検証1000枚の真意の一部は、ここにあります)

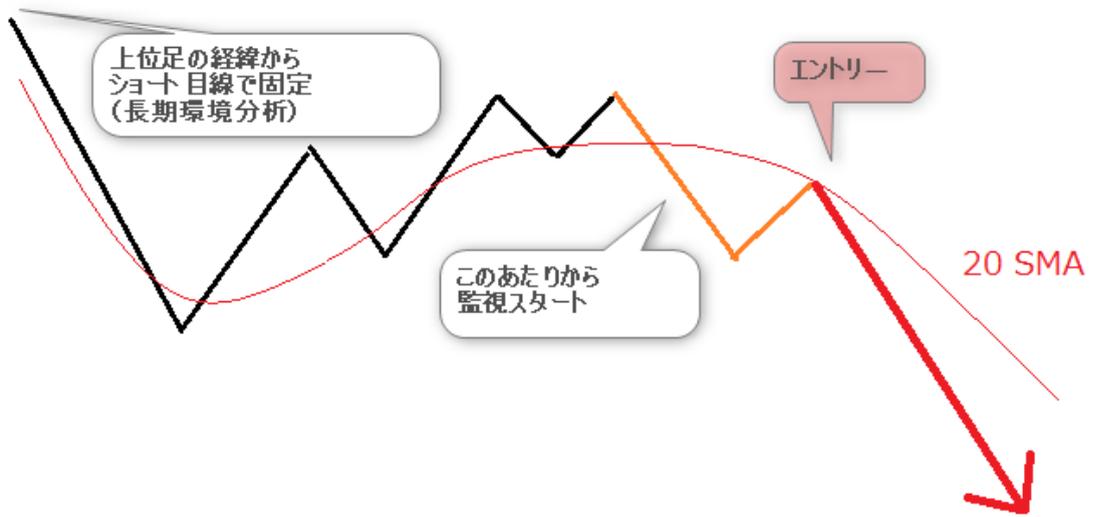
過去のツイートにおいて3波の捉え方の「大雑把なイメージ」については言及をしています。

▼ツイート▼

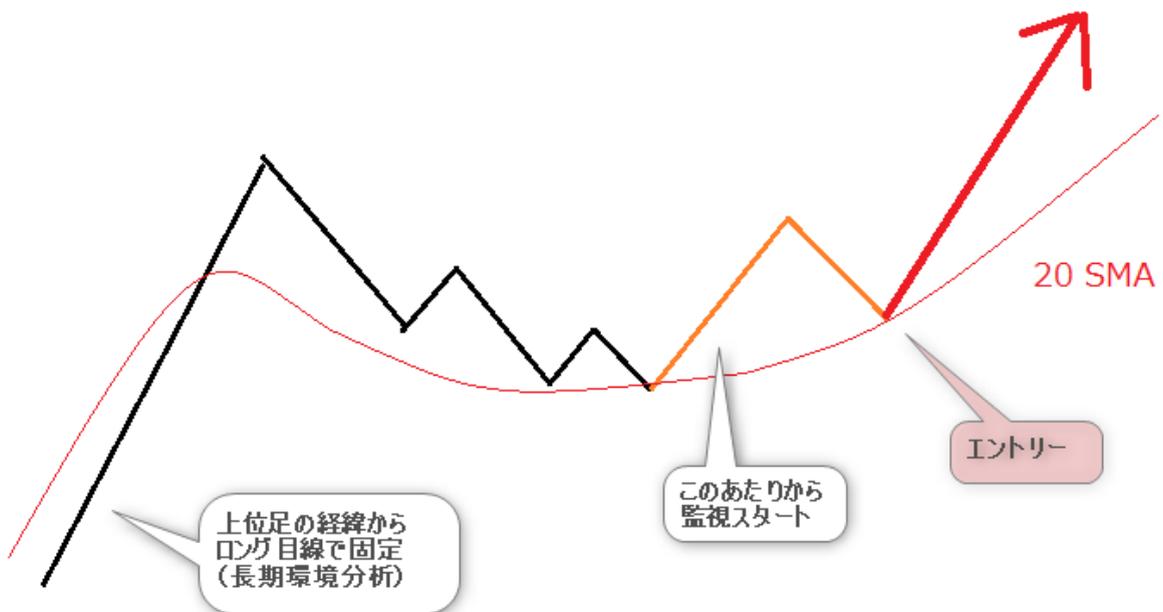
<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1420631439423545344?s=20>

また、その際に短期足(主にM5～M15足)で捉える波形のイメージをショートとロングに分けて考えると、こんな感じになります。

ショートの場合



ロングの場合



▼過去ツイートの一例(実トレード事例)▼

<EURJPY S>

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1424634486642253824?s=20>

<GBPJPY L>

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1422506871525560322?s=20>

<GBPUSD L>

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1422090733683548160?s=20>